

11月の書籍ベスト5

1. 光の犬 松家仁之助 山陽堂だより 101

- 新祥興社
1. 君たちはどうぼききか 吉野源三郎著 マカシムス
 2. 君たちはどうぼききか 吉野源三郎著 岩波文庫
 3. 「君は人の子と読む」 河野通和著 角川書店
 4. 孤狼は猿次郎 興陽館
 5. 忘れられた巨人 川口松太郎著 早川書房
 5. 北の国へ五歳 緑田 好むものを生きて 桃紅著 世界文化社

2017年12月師走



山陽堂書店

03-3401-1309

12月4日(月) - 26日(土)

木村かほる 氏

「ジャック日記」

月・金 11時-19時 日・祝 11時-17時

笑あり、ケンカあり

画家の娘から見た

92歳の母「ジャック」の観察絵日記!

90歳を超えたら母がジャックにならな?!

イラストレーター、画家として活躍する著者が

母との生活を「コマエッセイ」として日常を

綴った。

「ジャック日記 - she is 92 years old -」

(風濤社 1300円+税)もぜひご覧!

さあ、2-スプあふれる木村かほるさんの「ジャック日記」の世界へぜひ! 著者のお母様(JACK)が書かれた「昭和の少女」もぜひお手に取り読んでください。

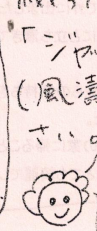
12月工曜休業日
年末年始営業時間の
お知らせ

- ・12月2日(土) 休業
- ・12月29日(金) 11時-15時
- ・12月30日(土)-1月4日(木) 休業
- ・1月5日(金) 6日(土) 11時-17時
- ・日祝休業、1/9利平節創



11月の店員推しベスト5

1. SPURIA 1月号 キットの天才 トン&ウエ
2. アカロシ 1月号 脱アパチンコ宣言
3. 家庭画報 12月号 心と体は「男」が
4. GINZA 12月号 月経は「クンター」
5. 婦人画報 12月号 月経 温泉へ



表参道イルミネーション2017

11/30(木) - 12/25(日) 日没-22時
神宮橋交差点 - 表参道交差点 (1.1km)
150本のけやきに約90万球のシャンホン
コートンのLEDが装飾されます。
今年は7年ぶりの表参道全域点灯。
(参考: 原宿表参道イルミネーション2017)

今月のこぼれ
「感情の7X」と
時のあまのり。X-1にや
SN52に失ったのは
これ。で、ある。」
ミラクルの ミニマHP
2017.5.22掲載

山陽堂書店3階にて

喫茶営業 不定期ですが、はじめまして。

山陽堂書店の3階では、ときどき喫茶営業をしています。
営業日は半月に一度メールでご案内しています。
配信を希望される方は本文に「メール配信希望」と明記のうえ、
sanyodo1891@gmail.com までご連絡ください。(メールには返信が付きません)
【12月後半 喫茶営業日】
12月16日(土) 13~17時
12月21日(木) 15~19時
12月25日(月) 15~19時



山陽堂書店の5世代目の
ビルが... ネット11/17/20
芝加非をミゲルマセ
ITにたいしてあります。
お時間か... ます
時に、せむや...
味わ... いた... ます
う... います。(4世代目)

昨日から表参道にイルミネーションが灯りました。
日中、電車でぐるぐる巻きにされているけやきを間近で見ると、調理系で巻かれたチャーシューを思い起こしてしまうのですが、日没後イルミネーションの灯ったけやき並木は日中のチャーシューがウソのように煌びやかで、冬が苦手な僕の気持ちを少し明るくしてくれます。
小さなときから目にしてきましたが、強く印象に残っているのは高校3年生のクリスマスの日。
大学の付属校に通っていた僕は、受験勉強に追われることもなく、同じように時間を持て余していた同級生と、うちでクリスマスっぽい夕食を食べていました。
原宿駅からうちに来るまでに数多のカップルを目にしていた僕は、互いに「なんでお前となんだよ」と心に思い、表情に浮かべ、結局言葉にして投げ合っていました。
その後、黙ってケーキを食べていた僕は、どうしようもなく居たたまなくなってしまう、母親が友人からもらったという、「何でそこに落ち着いたの?」というデザインの白いトレーナーと、それと同じくらい疑わしいセンスのトレーナーを押し入れから引っ張り出し、青いジャージのズボンを二つ用意して着替えしました。
お互いトレーナーをズボンの中に強めにインして、ママチャリ二台に跨って外に出ました。
僕は人でいっぱい表参道のヒルズ側の方を、なるべく人目につくようにと立ち漕ぎで往復しましたが、誰の目にも留まらないことがわかり、「帰るか」と言って帰宅しました。
ジングルベルな雰囲気こそぐわい悪意ある所業により、幸せに満ちた彼らの気持ちをちよとばかしシラけさせようという思惑は、こちらが何倍もダメージを受ける結果となって返ってきました。
うちに戻ってから残りのケーキを食べ、泊まってく予定だった彼は自分の家に帰ることになりました。
彼を駅まで送ったあと、もう一度見に行ったイルミネーションは、ほんととはとても綺麗でした。(12月1日記信分)